

◎ 農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」8月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。8月号では、第11回コンクールで奨励賞を受賞した「一般社団法人福島町まちづくり工房」（福島町）について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

JR北海道HPからJR北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（HPトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「一般社団法人福島町まちづくり工房」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa0000019pql.pdf

◎ 広報誌「開発こうほう」8月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。8月号では第7回コンクールで大賞を受賞した「落石地区マリビジョン協議会」（根室市）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のＨＰよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「落石地区マリンビジョン協議会」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/07/dantai/taisyo7050.pdf>

【わが村コラム】

今回紹介するのは、北斗市の「（有）緑友会 六輪村」（第１１回コンクール応募団体）で製造販売されている「加工品」です！

『六輪村』は１９９７年に旧上磯町６地区の農家の女性たちの活動から始まりました。農協の出荷規格に合わない野菜を「ただ捨てるのはもったいない」という思いから直売所を作り、規格外の野菜や花の販売を始めました。当時揃ったメンバー６人の「個性を生かして運営できれば長く続けていけるのでは」との思いを込めて、六つの輪で『六輪村』という名前にしたそうです。それぞれの持ち味を生かしての活動は２８年続いています。

直売所では緑友会構成員のほか、地域の農業者が持ち寄った豊富な野菜やトマトジュース、紫蘇ジュースなどの加工品が並び、福祉事業所等の製品販売も行っています。道産食品登録商品のトマトジュース「とってもトマト」は最も美味しい時期のトマトを使った期間限定製造の人気商品です。

実際に飲んでみましたが、果肉とゼリー状の部分がちょうどよく混ざることとでとろっとしていてトマトの旨みが凝縮されつつ、すっきりした後味なのでトマトジュースが苦手な人でも飲みやすいと思います。有塩と無塩の２種類があります。

紫蘇ジュースはホットでもアイスでもおいしくいただけるストレートタイプですが、お客様の間では炭酸で割って飲むのが好みという声が多く聞かれるとお店の方が教えてくれました。



また、直売所では地元野菜や特産物等の食べ頃や食べ方（レシピ配布）を消費者へ提案してお



り、しそジュースを使った簡単なレシピもありました。

紫蘇ジュースはさわやかな味で飲みやすく、プチトマトの紫蘇ジュース漬けは紫蘇の香りがしてさっぱりと食べられました。赤しそにはビタミンCやカリウムなどの栄養素が豊富に含まれており、夏バテ防止や疲労回復に効果的です。筆者の職場

の同僚などで炭酸・乳酸飲料・ヨーグルト・飲むヨーグルト・アイス・牛乳それぞれと紫蘇ジュースを1：1の割合で合わせたものを食べ飲み比べしてみました。中でも飲むヨーグルトで割ったものが好評でした。乳製品との相性が良いようです。紫蘇ジュースは今まで飲んだことがありませんでしたが、爽やかでぶどうジュースのような風味でした。ゼリーを作っても色鮮やかで、きれいだと思います。

トマトジュースや紫蘇ジュースはお歳暮やお中元など、贈答用ギフトの取り扱いもあります。



六輪村で生産した“たまふくら大豆”と国内産米こうじ、熊石産海洋深層水の塩を使用した手作りの米みそは味噌汁を作ると柔らかめで溶かしやすく、コクがあって出汁いらずという感じ

でした。きゅうりにつけて食べても抜群に美味しいです。そして味噌は、平成17年にオープン

した体験工房「ろくりん」で手作り体験もできます。「ろくりん」では予約制で地場産物を使った
みそ・豆腐・くじら餅等の加工体験が行えます。その他、観光客の農業体験も受け入れており、
北斗市観光の発展に貢献しています。みなさんも夏季休暇に『六輪村』を訪れてみませんか？



【住 所】 北斗市大工川 4 8

【営業時間】 9：30～14：30（火曜定休）

【ホームページ】 <https://rokurinmura.com/>

【わが村団体活動情報】

◎第39回「ひまわりまつり」開催します！！（北竜町）

<わが村団体名：北竜町ひまわり観光協会>

毎年20万人以上の観光客が訪れる北竜町の夏の一大イベント「ひまわりまつり」では、東京
ドーム5個分となる23haの広大な畑に
200万本のひまわりが咲き誇り、鮮やか
な黄色で埋めつくされる様は圧巻の一言で
す。

開催期間中は、ひまわりで作られた巨大
な迷路をはじめ、約30種類もの世界のひ
まわりを鑑賞することができる世界のひま
わりコーナーや、飲食や買い物を楽しむこ
とのできる観光センターなども併設されま
す。また花火大会など日毎の様々なイベン
トもありますので、この機会に是非、北竜
町へお越しください。

【開催期間】 7月20日（日）～8月18日（月）

【開催場所】 ひまわりの里（雨竜郡北竜町字板谷143-2）

【お問合せ】 北竜町ひまわり観光協会（北竜町役場商工ひまわり観光林務係）

TEL：0164-34-6790

【関係HP】 <https://hokuryu-kankou.com/>

◎第16回「歯舞こんぶ祭り」開催のお知らせ！（根室市）

<わが村団体名：歯舞地区マリンビジョン協議会>

16回目となる「歯舞こんぶまつり」を今年も開催します。



えた飲食コーナーのほか、各種昆布製品が購入できる販売コーナーなどもあります。

当日は根室駅前バスターミナルから会場まで無料シャトルバスを運行していますので、みなさん是非会場へお越しください！

【開催日時】 令和7年8月24日（日）

10：00～14：00（雨天決行）

【開催場所】 歯舞漁業協同組合 組合事務所ウラ

（根室市歯舞4丁目132番地2）

会場では特設ブースでの昆布漁体験や、子供ビンゴ大会、ステージショーなどのイベントが盛り沢山！歯舞の特産品を素材に使ったメニューを取り揃

※ 天候等により会場を中央市場内・屋根付岸壁に変更する場合があります。

【お問合せ】TEL：0153-28-2121（歯舞こんぶ祭り実行委員会（歯舞漁協内））

【関係HP】<https://habomai-jf.jp/marinvision.html>

【関係SNS】https://www.facebook.com/mv.habomai/?locale=ja_JP

◎美しく歩こう♪大滝ノルディックウォーキング『残暑の集い&初心者教室[8月]』開催！（伊達市）

<わが村団体名：大滝ノルディックウォーキング協会>

大滝ノルディックウォーキング協会では、NPO法人日本ノルディックウォーキング学校と連携し、2本のポールを使って屋外を歩くスポーツ、北欧の国フィンランド発祥の「ノルディックウォーキング（NW）」の普及活動を行っています。

今年も5月から大滝NW常設コースにて、NWイベントを開催しており、8月24日（日）には『残暑の集い&初心者教室〔8月〕』を開催します。

伊達市大滝の自然に囲まれた中で、ウォーキングの技術と楽しさ、そして健康な身体づくりを伝えます。是非、ご参加ください。

日本ノルディックウォーキング学校は
ノルディックウォーキングの
技術と楽しさ、そして健康な身体づくりを伝えます。

美しく歩こう！
**大滝
ノルディック
ウォーキング**
・Nordic walking・

事業名	期日	場所	内容
新緑の集い&初心者教室[5月]	5月25日	大滝NW常設コース (大滝総合運動公園 伊達市大滝区大成町1)	集合時間/9:30 集合場所/キートス・マヤ 参加料/500円(保険料含む) JNWS会員無料
清流の集い&初心者教室[6月]	今年度は中止		申し込み/当日会場 コース/希望より~4km・6km ポール/1組500円(維持費)事前申込要
成夏の集い&初心者教室[7月]	7月27日		
残暑の集い&初心者教室[8月]	8月24日		
秋分の集い&初心者教室[9月]	9月28日		
紅葉の集い&初心者教室[10月]	10月26日		
第12回 スノーシューイングの集い	2026年 2月21日	大滝内山洞窟及び 周辺エリア	冬の里山や雪原をスノーシューイングで安全に 楽しみながら歩く集いです。(大滝の季節予定) 時 間/9:15~13:30 参加料/2000円 JNWS会員無料 スノーシュー貸出料金1組1000円
特別 共催 赤いはちみつ フェスタ2025	2025年 8月10日	赤いはちみつ (伊達市大滝区 俊徳町119)	時 間/10:00~16:00 集合場所/赤いはちみつ 参加料/500円(ポール代含む) ※参加料は当日受付にお支払い下さい

NPO法人日本ノルディックウォーキング学校は大滝ノルディックウォーキング協会と連携して活動を行っています

各申込・問い合わせ先

事務局 NPO法人日本ノルディックウォーキング学校
〒052-0317 伊達市大滝区俊徳町 64-10
TEL:080-4043-6106(森田) e-mail:japan.nordicwalking.school@gmail.com

【開催日時】8月24日（日）

集合時間9：30

【開催場所】大滝NW常設コース（大滝総合運動公園）

【集合場所】大滝総合運動公園 キートス・マヤ（施設内休憩所）（伊達市大滝区大成町1）

【参加申込】①～③のいずれかでお申し込みください。

① 当日会場にて参加申込

② メールにて参加申込（事前） → japan.nordicwalking.school@gmail.com

※メール申込の場合は、参加イベント、参加人数、連絡先電話番号を添えて送信してください。

③ 電話にて参加申込（事前） → 080-4043-6106（藤田）

【参加費用等】ＨＰ等でご確認ください。ポールの貸し出しは事前予約が必要となります。

【コ ー ス】希望により、４ｋｍ、６ｋｍのコースを選定できます

【お問合せ】事務局 ＮＰＯ法人日本ノルディックウォーキング学校

〒052-0317 伊達市大滝区優徳町64-10

TEL：080-4043-6106（藤田） e-mail; japan.nordicwalking.school@gmail.com

【Ｈ Ｐ】 <http://www.phoenix-c.or.jp/~fujita/top.html>

※ 今後の開催や他のイベント等も予定していますので、是非ＨＰよりご確認ください。

◎「農高のおみせ」今年も開催しています！！（倶知安町）

<わが村団体名：北海道倶知安農業高等学校>

北海道倶知安農業高等学校では、生徒が育てた農畜産物やこれらの加工品などを販売する「農高のおみせ」を毎年開催しています。「農高のおみせ」は生徒自らが対面で行う販売実習を導入しており、地域の方々との交流の場ともなっています。



今年は7月16日に第1回目の「農高のおみせ」を開催していますが、8月から11月まであと3回開催を予定しています。新鮮な野菜をはじめ、季節のお花やトマトジュース、三升漬、パン、肉加工品などのほか、毎回大好評の倶農産牧草飼料で育てた「倶農グラスフェッド

和牛」も販売しますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

【開催場所】 倶知安町中小企業センター

1 F ホール（倶知安商工会議所 横）

（虻田郡倶知安町南2条西1丁目32）

【開催月日】 8月21日（木）、9月18日（木）、

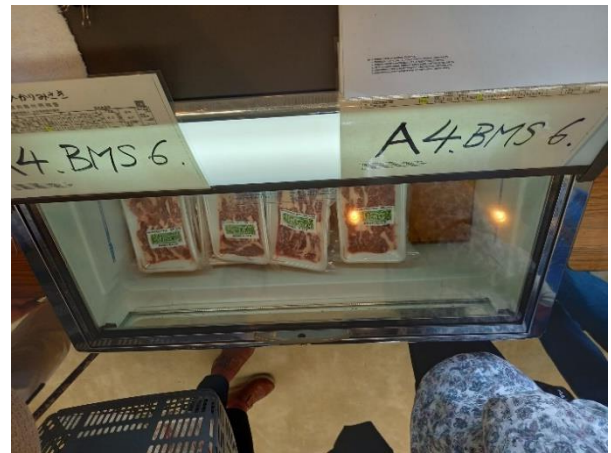
11月13日（木）（※7月16日（水）の開催は終了しました。）

【開催時間】 14：00～15：00

【お問合せ】 電話 0136-22-1148（北海道倶知安農業高等学校）

【HP】 <http://www.kucchannougyou.hokkaido-c.ed.jp/>

（※トップページ左側サブメニュー「お店開催情報」参考）



【お知らせ】

◎令和7年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」を募集中！（国土交通省北海道開発局）

この賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を国土交通大臣が表彰するものです。

今年度で40回目の開催となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」について、只今募集を行って

いますので、地域づくりに取り組む活動団体、
地方公共団体のみなさまのご応募をお待ちして
います。

これまで、「わが村は美しくー北海道」運動
で表彰された3団体が「手づくり郷土賞」に選
定されています。（H16：黒松内ぶなの森自
然学校運営協議会（黒松内町）、H25：NP
O法人グラウンドワーク西神楽（旭川市）、R
4：特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光
協会（鶴居村））

【募集期間】令和7年6月2日（月）

～令和7年8月1日（金）

※応募方法など詳しくは↓こちらをご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/k5m5qg00000041z4-att/k5m5qg00000062hx.pdf>

【お問合せ】北海道開発局開発監理部開発調整課（担当：岡村）

TEL：011-709-2311（内線5476）

◎「ディスカバー農山漁村（むら）の宝 AWARD」 第12回選定エントリー募集中！

（農林水産省農村振興局）

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に
向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組ん
でいる優良事例を選定し、全国に発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」
特設ホームページでの活動紹介等を通じて、全国的な情報発信を行います。



「わが村は美しく－北海道」運動の参加団体もこれまでに数多く選定されており、第11回では「北海道幌加内高等学校（幌加内町）」と美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）が係わる「北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会」が選定されています。

【募集期間】 令和7年6月2日（月）

～令和7年8月12日（火）

【お問合せ】 農林水産省農村振興局

農村政策部農村計画課農村政策推進室

TEL（代表）：03-3502-8111

（内線5449）

ダイヤルイン：03-3502-6001

※ 応募方法など詳細は↓こちらよりご確認ください。

【HP】 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250602.html>



【活動支援メニュー】

○令和7年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和7年度（後期）の助成募集を開始し

ています。

各団体の皆様へ

令和7年7月吉日

NPO 法人わが村は美しくー北海道ネットワーク 事務局

助成事業の詳細については、当 N P O 法人の H P によりご確認ください。

「わが村は美しくー北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【助成募集期間】（後期）令和7年7月

～ 令和7年12月31日まで

【助 成 額】1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【H P】 <http://wagamura-net.jp/>

令和7年度(後期)わが村運動活動助成の実施についてのご案内

当 NPO 法人は、これまでも微力ながら運動参加団体の活動を支援してきましたが、今後、より一層幅広く地方の活動を支援するため、「わが村運動活動助成」に取り組むこととしてます。詳細は当法人のホームページ上に掲載しておりますが、令和7年度事業実施の助成募集期間を(後期:令和7年7月から12月31日迄)としています。

これまで構想はあったが予算上から思うように取り組めなかった事など、今後の活動の中で本助成事業の対象となる活動がございましたら、これを契機にご検討いただければ幸いです。

申請にあたっては、申請書(様式1-1)及び(様式1-2)を上記の期間内に当 NPO 法人事務局まで郵送、FAX、メールにて送付いただければ受け付けます。

なお、本助成事業は当 NPO 法人の特別会員を対象としておりますので、申請される場合は、申請書(様式1-2)の「特別会員入会の有無」欄に記入いただきますようお願いいたします。是非この機会に特別会員への入会(無料)をお願いします。

(注)

① 「わが村運動申請」の詳細は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【活動助成事業】によりダウンロードできます。(右の QR コードからも取得できます。)

② 申請書(様式1-1)及び(様式1-2)は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【申請書様式】等によりダウンロードできます。(右の QR コードからも取得できます。)

申請書提出先 : NPO 法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク 事務局
〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目2番地5 NDビル9階
FAX 011-758-7611
E-Mail wagamuranet@minos.ocn.ne.jp
又は E-Mail(2) y_kudoh@kishimotogumi.com
担当者 : 工藤 郁二、山田 久幸

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部 H P をご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部 H P をご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第3四半期（10月～12月））

令和7年7月1日 ～ 令和7年8月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【HP】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

暑い日が続いていますが、8月初旬には、暦のうえでの「立秋」が訪れるそうです。「立秋」は、秋の始まりを告げる節気です。とはいえ、ここ最近の道内ではまだ猛暑が続く時期で、「秋」と聞いても実感が湧かないかもしれません。それでも、空の色や夕方の風に少しずつ季節の変化を感じ始める頃でもあります。古来、立秋を迎えると暑中見舞いから残暑見舞いへと手紙の挨拶が変わり、暦に寄り添う細やかな気配りが生活の中に息づいていました。現代でも、立秋を機に夏の疲れを癒

す工夫や、次の季節への準備を意識することで、暮らしに余白とゆとりが生まれます。気象とは異なる「季節の区切り」として、立秋を見直すことは、自然とのつながりを再確認するきっかけとなるのではないのでしょうか。

ちなみに、今年の「立秋」は、8月7日（木）で、正確な時刻は、14時51分とされています。この時刻を境に、季節は夏から秋へと静かに移り変わっていくそうですが、今はその時が待ち遠しくてたまらないのは私だけでしょうか。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
